

静岡市へのLRT導入に関する 提言書（研究成果）

静岡市LRT導入研究会
平成23年12月27日（火）

静岡市LRT導入研究会

- 静岡市の将来を見据えた交通ネットワークの構築や、効率的な都市経営、効果的な都市基盤整備を図っていくためには、環境負荷の軽減、超高齢社会の対応、中心市街地の活性化などに効果が期待できるLRTの導入と、その沿線でのまちづくり施策の実施により、「静岡型コンパクトシティ」の実現を図るべきである。

【LRT導入により期待される効果】

- ◇ 人や地球にやさしい「環境」づくり
- ◇ コンパクトで歩いて暮らせる「健康」なまち
- ◇ LRTのシンボル性と観光資源の連携による「交流」人口の拡大
- ◇ 商業や沿道開発の推進により都市の魅力を高めた「賑わい」の創出

- LRTの実現に向けては、市民の合意が不可欠である。その上で、市民・経済界・鉄道事業者・市がそれぞれの役割を踏まえ、一体となった連携・協力が必要である。

【それぞれの役割】

- ◇ 「市民」
LRT導入の協議への参加、需要の創出（積極的な利用）、都心部への自動車流入抑制などの協力
- ◇ 「経済界」（静岡商工会議所）
沿線開発、需要の創出（通勤利用）などの協力
- ◇ 「鉄道事業者」（静岡鉄道）
技術、設備、人材などの協力、運営
- ◇ 「市」
市民への情報提供、意向把握、啓発活動、整備の推進

からの提言（研究成果）

- L R Tの実現には、「需要の確保」、「都心部への自動車流入抑制」、「静岡鉄道との結節」、「J R横断及び静岡駅、清水駅との結節」などの課題解決が必要である。
その課題が解決されたルートから、導入に向けて取り組む。

【静岡地区の課題】

都心部への自動車流入抑制、静岡鉄道との結節、J R横断及び静岡駅との結節

【静岡地区の課題対応策】

- ◇ 都心部への自動車流入抑制、迂回ルートの確保
- ◇ 歩行者主体のまちづくり（江川町交差点平面横断化等）
- ◇ 新静岡駅での結節方法の決定
- ◇ J R横断箇所及び周辺交通処理の決定、J R静岡駅前広場の改修

【清水地区の課題】

需要の確保、静岡鉄道との結節、J R清水駅との結節

【清水地区の課題対応策】

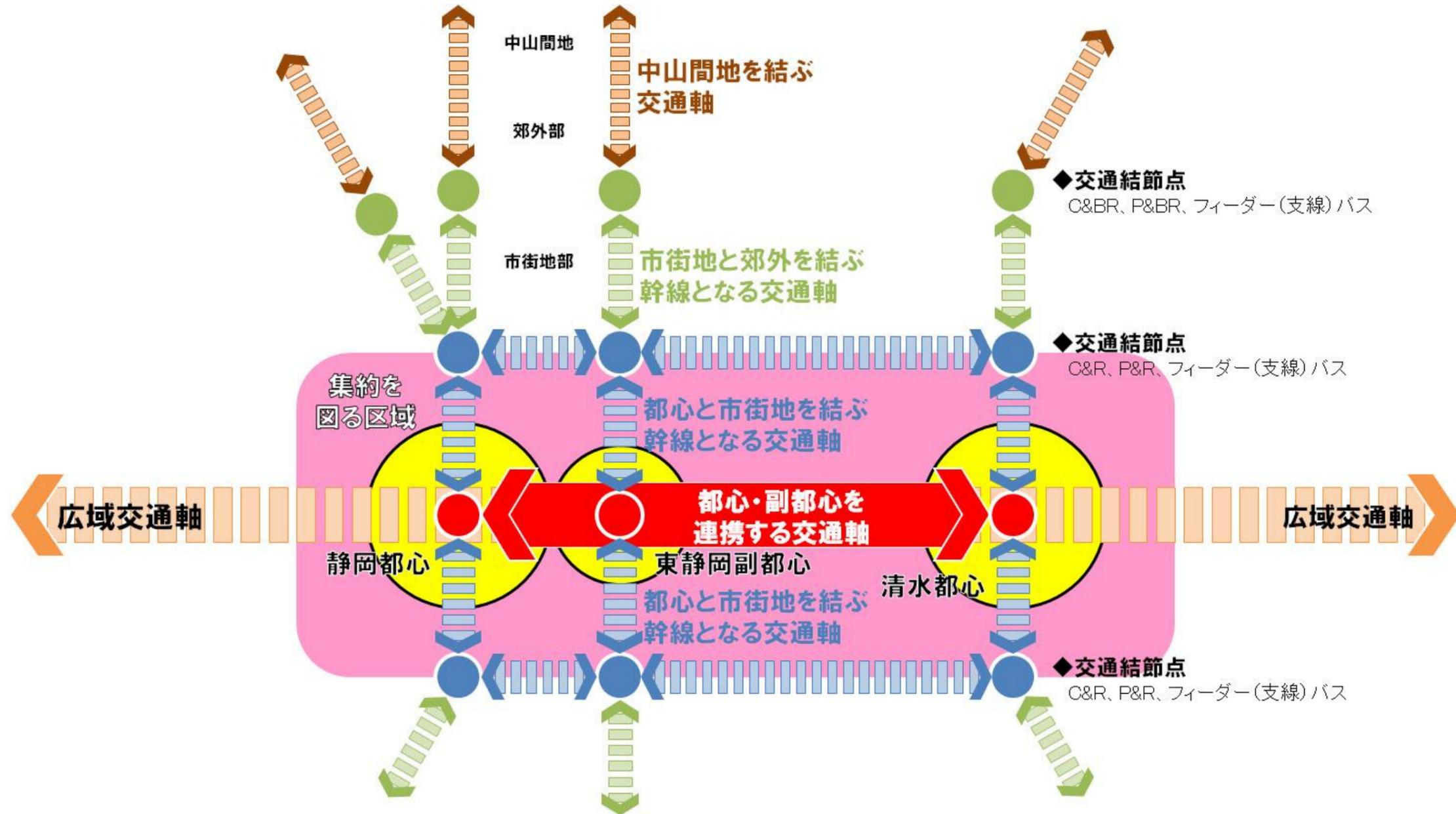
- ◇ 民間集客施設の立地、誘致の見通し
- ◇ 沿線事業所の通勤をL R T利用に転換誘導
- ◇ 市民の定期利用者確保
- ◇ 新清水駅での結節方法の決定
- ◇ J R清水駅前広場の改修

- L R Tは、静岡鉄道の施設と同様の規格・仕様にするこ
とで、線路への乗り入れが可能となり、様々な効果が期待で
きる。

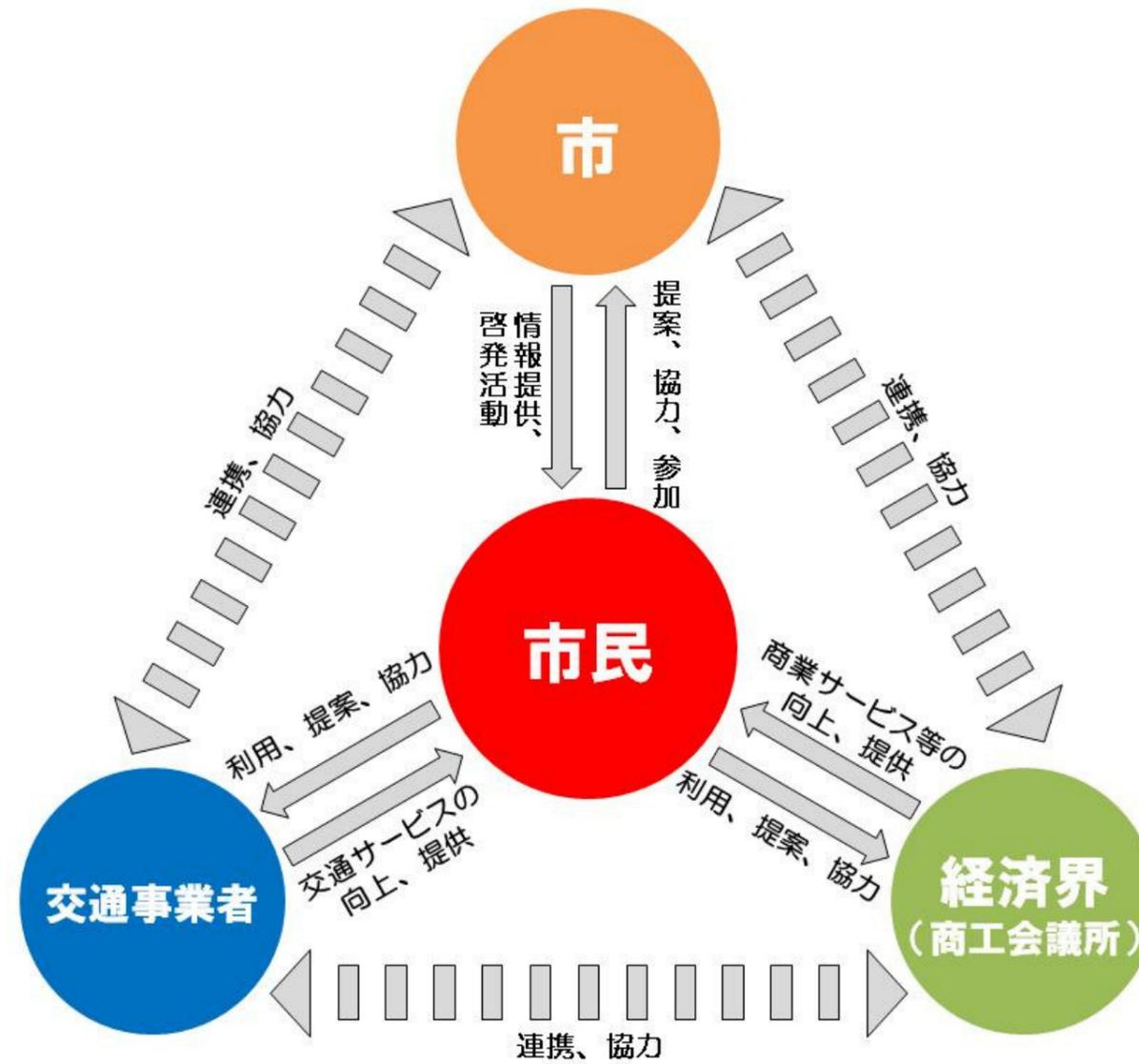
【乗り入れにより、期待される効果】

- ◇ 整備コストの縮減
- ◇ 公共交通ネットワークの構築
- ◇ 沿線まちづくりの推進
- ◇ 需要の拡大
- ◇ 都心間交流の促進

公共交通ネットワーク構想

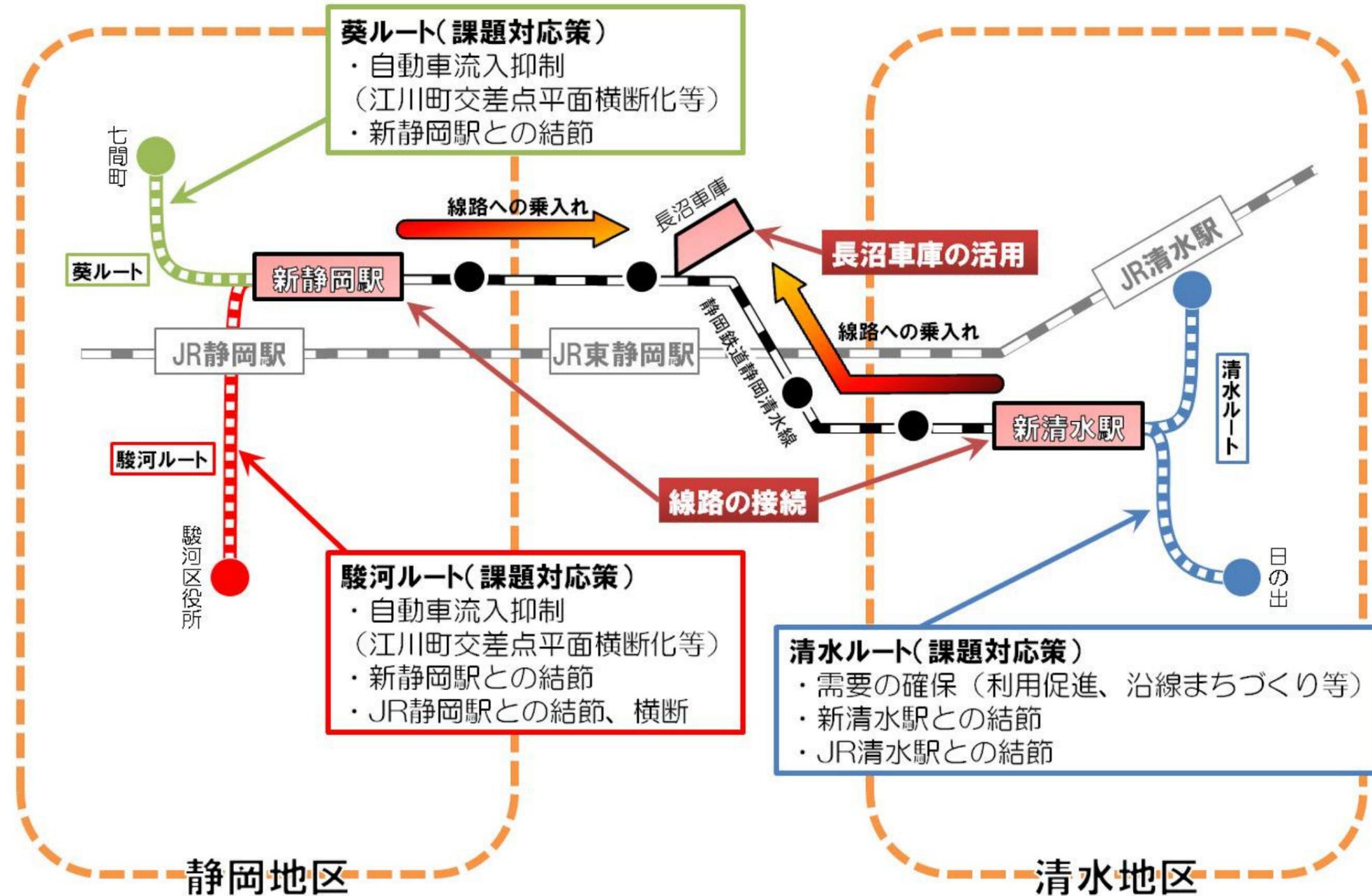


実現に向けての連携・協力体制



市民・経済界・交通事業者・市との協働

導入に向けての課題への対応



LRTの実現 ⇒課題が解決されたルートから整備に着手する。

静岡市 LRT 導入研究会

会長 久保田 尚 (埼玉大学大学院 教授)
後藤 康雄 (静岡商工会議所 会頭)
三浦 孝文 (静岡鉄道株式会社 専務取締役)
清水喜代志 (静岡市 副市長)